

令和4年12月27日

知事会見

1日当たりの新規感染者数（前週との比較）

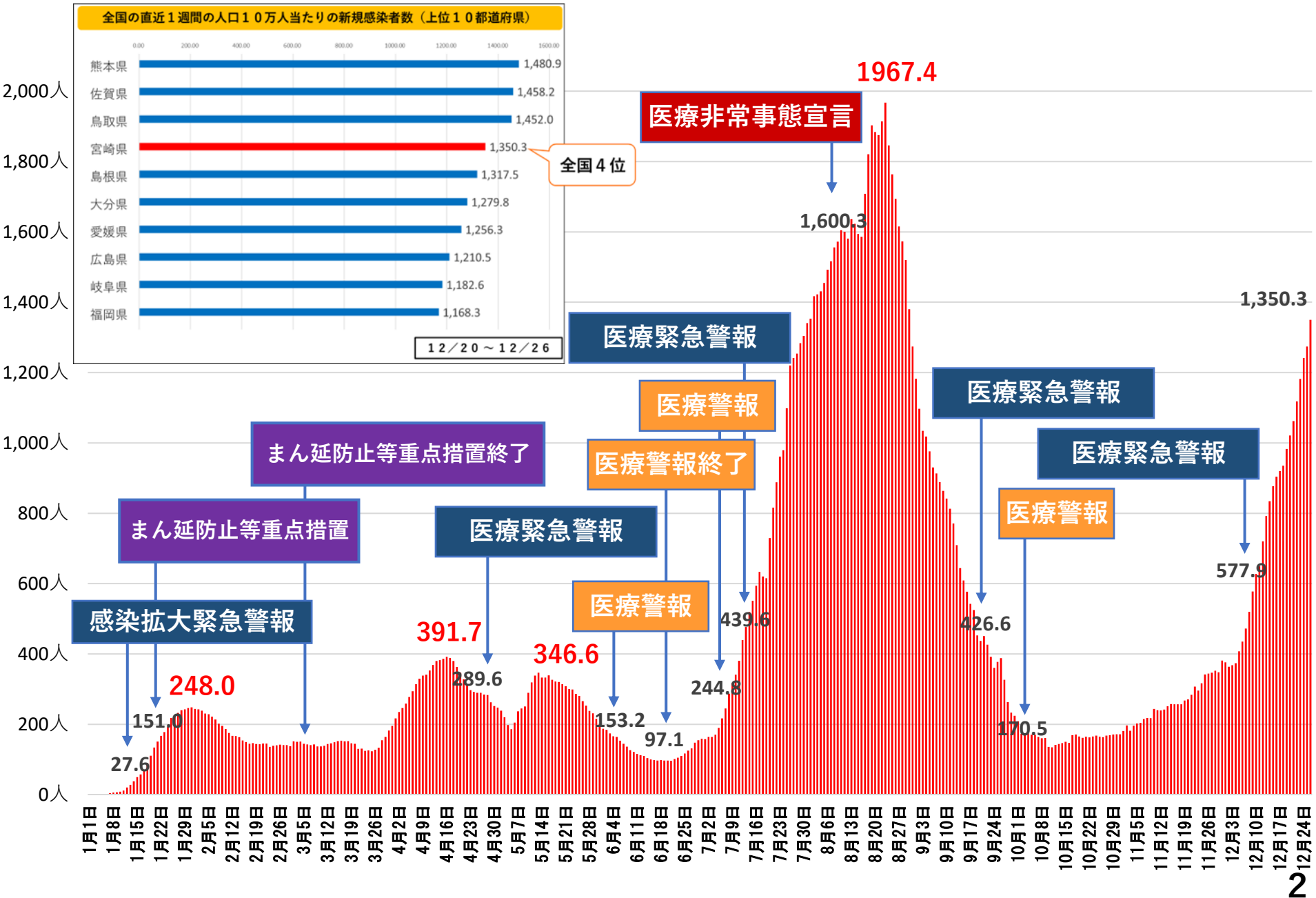
11～12月

※前週との比較

2022（令和4年）

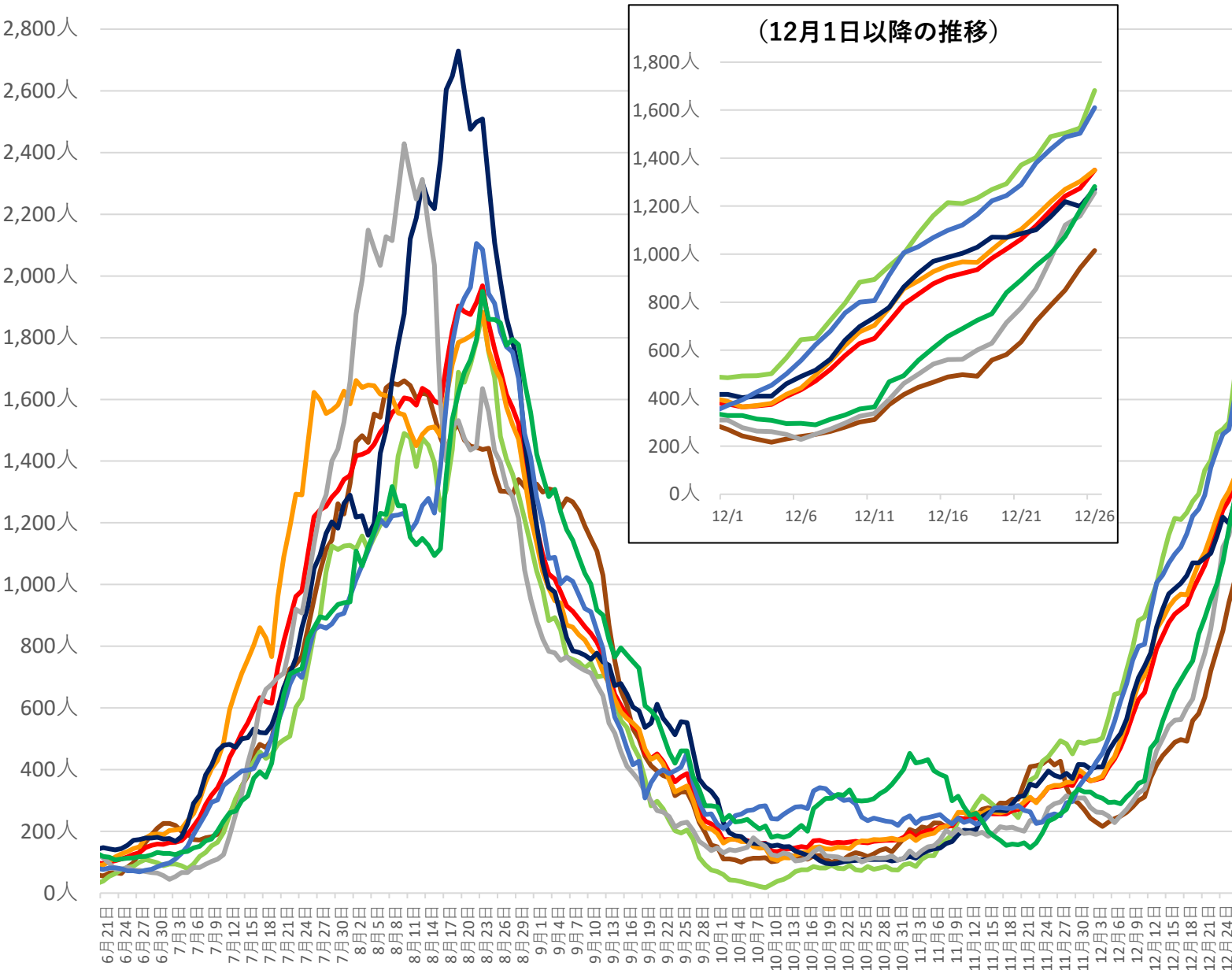
日	月	火	水	木	金	土	1週間合計
13 169人 +27 (1.2倍)	14 605人 +97 (1.2倍)	15 494人 +66 (1.2倍)	16 398人 -4 (1.0倍)	17 383人 -4 (1.0倍)	18 425人 +3 (1.0倍)	19 377人 +114 (1.4倍)	2,851人 +299 (1.1倍)
20 199人 +30 (1.2倍)	21 750人 +145 (1.2倍)	22 738人 +244 (1.5倍)	23 279人 -119 (0.7倍)	24 603人 +220 (1.6倍)	25 695人 +270 (1.6倍)	26 404人 +27 (1.1倍)	3,668人 +817 (1.3倍)
27 223人 +24 (1.1倍)	28 813人 +63 (1.1倍)	29 691人 -47 (0.9倍)	30 631人 +352 (2.3倍)	1 549人 -54 (0.9倍)	2 564人 -131 (0.8倍)	3 449人 +45 (1.1倍)	3,920人 +252 (1.1倍)
4 286人 +63 (1.3倍)	5 1,174人 +361 (1.4倍)	6 983人 +292 (1.4倍)	7 1,025人 +394 (1.6倍)	8 1,055人 +506 (1.9倍)	9 1,184人 +620 (2.1倍)	10 980人 +531 (2.2倍)	6,687人 +2,767 (1.7倍)
11 516人 +230 (1.8倍)	12 1,925人 +751 (1.6倍)	13 1,754人 +771 (1.8倍)	14 1,472人 +447 (1.4倍)	15 1,509人 +454 (1.4倍)	16 1,476人 +292 (1.2倍)	17 1,148人 +168 (1.2倍)	9,800人 +3,113 (1.5倍)
18 678人 +162 (1.3倍)	19 2,435人 +510 (1.3倍)	20 2,164人 +410 (1.2倍)	21 1,904人 +432 (1.3倍)	22 2,105人 +596 (1.4倍)	23 2,159人 +683 (1.5倍)	24 1,782人 +634 (1.6倍)	13,227人 +3,427 (1.3倍)
25 1,023人 +345 (1.5倍)	26 3,248人 +813 (1.3倍)	27	28	29	30	31	4,271人

直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数



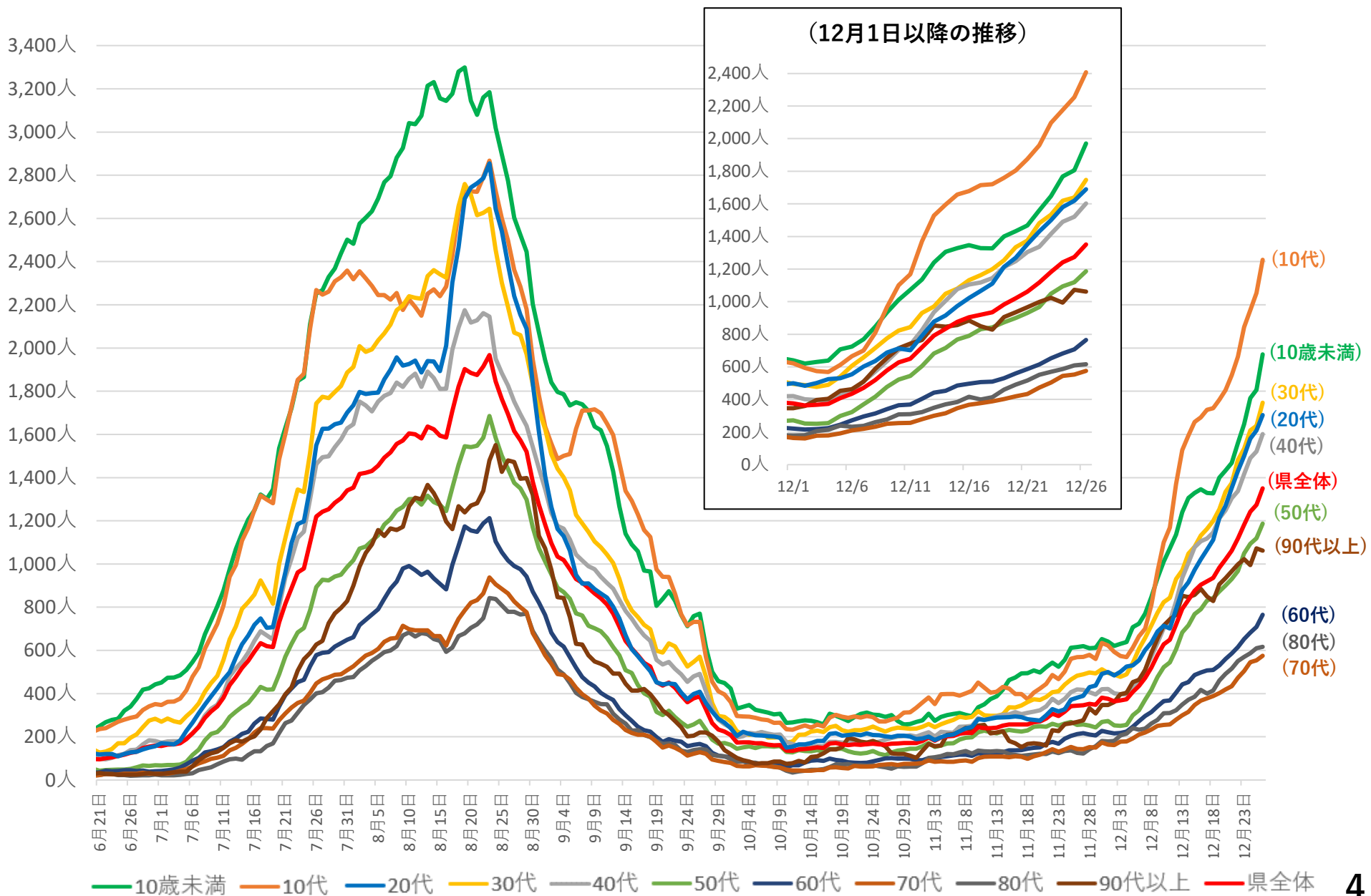
各圏域別の感染状況

(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数)

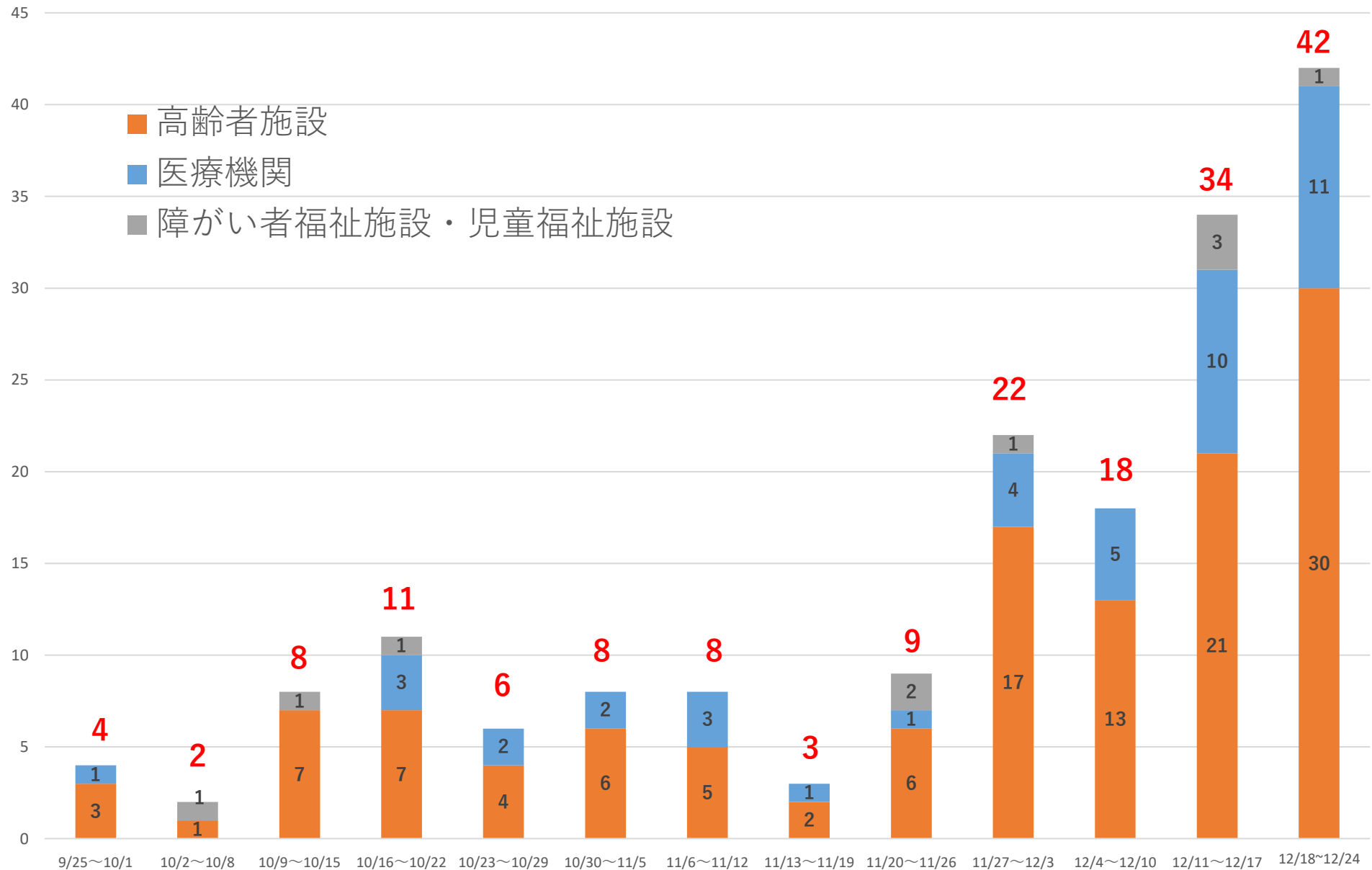


- 1681.4 (小林・えびの・西諸県)
- 1610.3 (延岡・西白杵)
- 1350.3 (県全体)
- 1349.9 (宮崎・東諸県)
- 1281.4 (日向・東白杵)
- 1271.7 (都城・北諸県)
- 1256.7 (日南・串間)
- 1015.3 (西都・児湯)

各年代別の感染状況 (直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数)



高齢者施設等におけるクラスターの状況



第8波における感染の広がり（イメージ）

一次感染



10歳未満、10代の
感染が拡大

二次感染



家庭に感染が
持ち込まれて拡大

三次感染



職場へと感染が拡大

四次感染

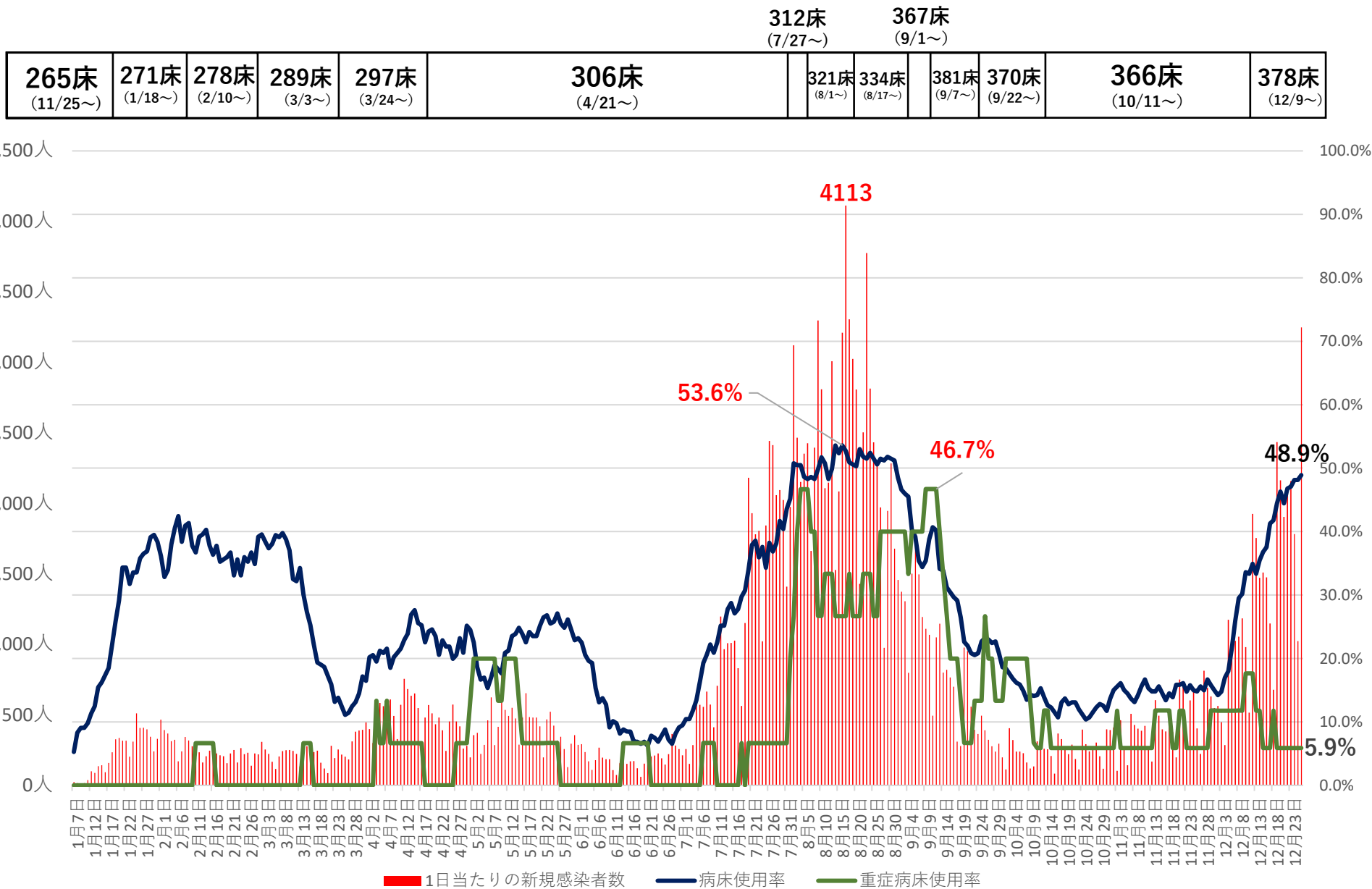


高齢者施設や医療機関で
クラスターが発生

入院患者が増加！
医療機関の負荷が増大！

いつ、どこで、誰が感染しても
おかしくない状況！

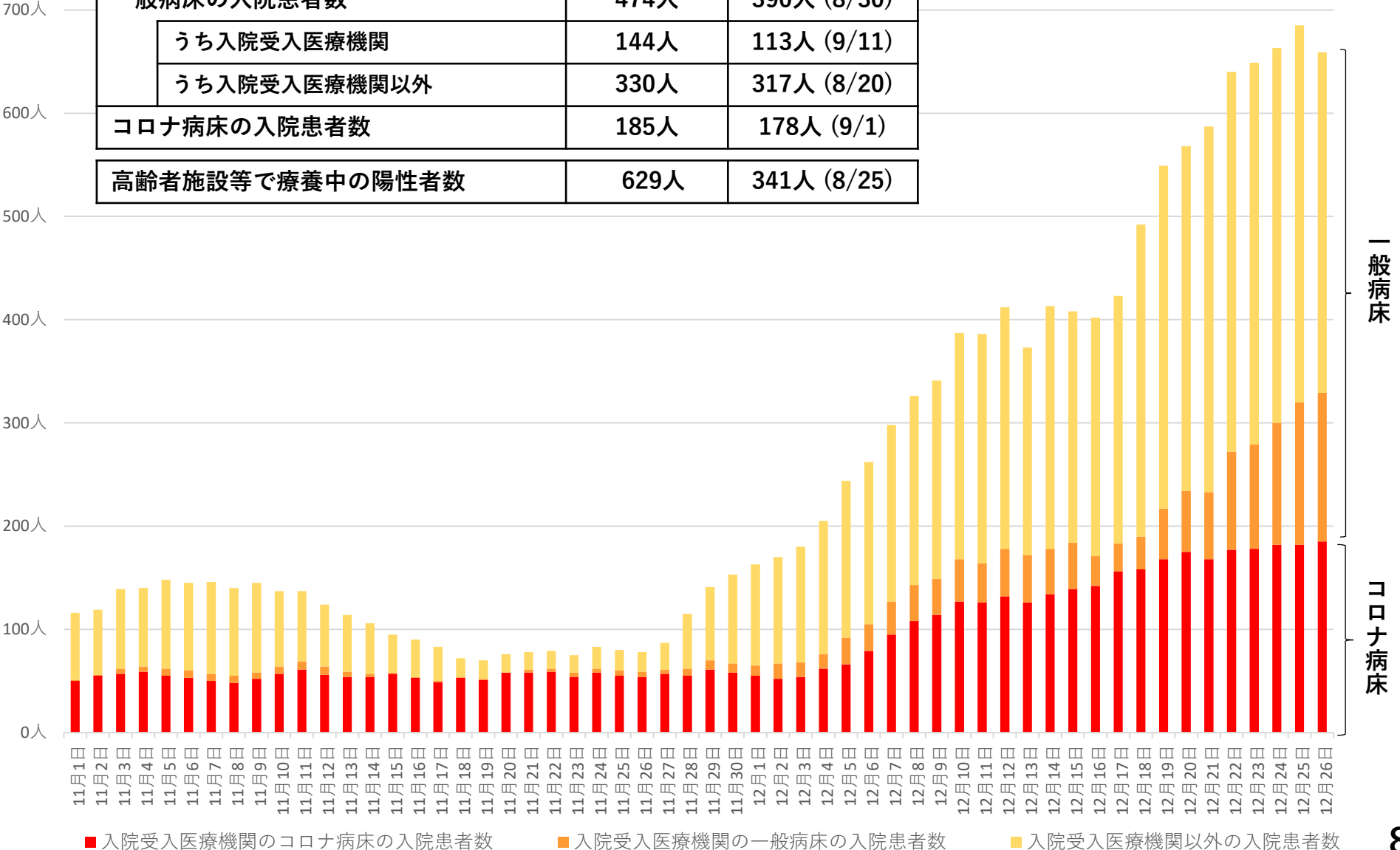
新規感染者数と病床使用率の推移



※病床使用率、重症病床使用率は、新型コロナウイルスの確保病床における入院患者をベースに算定

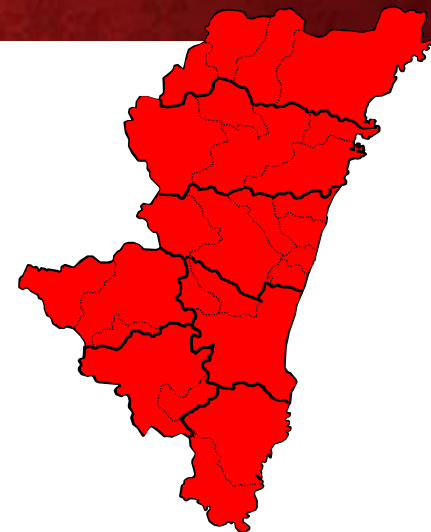
入院患者数の推移

	12/26時点	第7波のピーク
一般病床の入院患者数	474人	390人 (8/30)
うち入院受入医療機関	144人	113人 (9/11)
うち入院受入医療機関以外	330人	317人 (8/20)
コロナ病床の入院患者数	185人	178人 (9/1)
高齢者施設等で療養中の陽性者数	629人	341人 (8/25)



医療非常事態宣言

を発令！



■発令期間

12月27日(火)～1月26日(木)を目途

※終期は、医療のひっ迫状況等を見極めて判断

「第8波」の感染拡大により、高齢者の入院患者が急増しており、病床使用率が50%に近づくなど、県内のぜい弱な医療提供体制はひっ迫しつつある。これから年末年始を迎え、人流や接触機会のさらなる増加が見込まれる中で、リスクの高い高齢者等を感染から守るとともに、県内の医療機能を維持していくため、県独自の「医療非常事態宣言」を発令する。

県民の皆さまへのお願い（12月27日～）

混雑した場所や感染リスクの高い場所への 外出・移動は控えて！



高齢者や基礎疾患のある方及びこれらの方と日常的に接する方は、特に注意をお願いします。また、少しでも体調に異変がある場合は、出勤や登校など外出・移動は控えてください。

感染リスクの高まるような 大人数・長時間は控えて！



会食の際は、感染防止対策の認証を受けた「ひなた飲食店認証店」を利用し、感染リスクの高まるような大人数・長時間は控えてください。（自宅等での会食も注意）

重症化リスク等に応じ、適切に医療機関の受診・療養を！

【ハイリスクの方等】



65歳以上の方や基礎疾患がある方、お子さんや妊娠している方は、少しでも体調に異変がある際は、すぐに身近な医療機関を受診してください。（できる限り、平日・日中の受診をお願いします）

※無症状で感染に不安がある方は、無料検査を受検してください。

宮崎県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター ☎0985(78)5670 (24時間対応)
宮崎県検査相談コールセンター ☎0985(68)1001(受付時間:9時～17時)※土日祝を含む

【ハイリスクの方以外】



症状が軽いなど、医療機関を受診せず、自宅で速やかに療養を開始したい方は、抗原定性検査キットで検査を行い、陽性であった場合は、陽性者登録センターに連絡し、自宅等で療養を行ってください。

[対象者]

65歳未満の方、重症化リスクを有しない方、妊娠していない方

宮崎県陽性者登録センター ☎0570(089)050 (受付時間：9～18時)

高齢者施設・障がい者施設の対面での面会は控えて！



緊急やむを得ない場合を除き、高齢者施設等での対面での面会は制限してください。（ガラス越しやオンラインでの面会をお願いします。）

ワクチンの早めの接種を！



オミクロン株対応ワクチンの早めの接種をお願いします。インフルエンザとの同時流行も懸念されているため、インフルエンザワクチンの早めの接種もお願いします。

イベントは感染防止対策を徹底の上、国の基準に沿って開催を！



イベントは、国の定める収容率及び人数上限の範囲内で、主催者において感染防止対策を徹底して開催してください。また、飲食時には、「ひなた飲食店認証店」の認証基準に準じた対策の実施をお願いします。

検査体制の強化

■ 高齢者施設等における集中的検査の継続

【実施期間】 12月5日（月）～2月26日（日）

【実施回数】 週に2回程度 【配布個数】 約190万個

■ 無料検査の対象者の拡大

- ・ 無料検査の対象を、県外から旅行・帰省等で来県した方にも拡大

【期間】 12月24日（土）～1月12日（木）

【検査場設置数（12/27時点）】

宮崎東諸県	都城北諸県	延岡西臼杵	西諸	西都児湯	日向入郷	日南串間	計
43	19	9	8	3	6	8	96

※年末年始期間中に無料検査を実施する検査場については、県HPをご確認ください



宮崎空港



宮崎港フェリーターミナル

宮崎県からのお願い (新型コロナウイルス関係)

県内右新規感染者が急増しています！

- 基本的な感染防止対策（マスク、手洗い、換気）の徹底をお願いします。
- 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出・移動は慎重に判断してください。
また、感染リスクの高まるような大人数・長時間での会食は控えてください。
- 帰省や旅行等で来県された方は、無料検査の実施をお願いします。（特に、高齢の親族等に会う方は、事前の検査で陰性を確認してください）

※ 1月12日までは、県外在住の方も県内で無料検査が受けられます（年末年始の期間中に受検が可能な無料検査場については、県HPをご確認ください）

宮崎県検査相談コールセンター 0985(68)1001
(受付時間:9時～17時) ※年末年始、土日祝を含む



無料検査について詳しくはこちら

▼ 受診や相談する医療機関に迷う場合は…

宮崎県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター

☎ 0985(78)5670 24時間対応 ※年末年始、土日祝を含む

医療提供体制の強化①

■ 入院受入体制の強化

- 入院受入病床（確保病床）の拡充（378床→382床）

	宮崎 東諸県	都城 北諸県	延岡 西白杵	西諸	西都 児湯	日向 入郷	日南 串間	計
～12.26	144	60	76	23	21	35	19	378
12.27～	148	60	76	23	21	35	19	382

- 病床確保計画上のフェーズを「緊急フェーズ」に引き上げ

→本日付けで県内の各医療機関にさらなる病床の確保を要請（今後、確保病床を順次拡大）

■ 発熱外来体制の拡充

- 年末年始の期間中（12/29～1/3）に発熱外来が可能な医療機関を拡大

	宮崎 東諸県	都城 北諸県	延岡 西白杵	西諸	西都 児湯	日向 入郷	日南 串間	計
在宅医療機関数（延べ）	32	17	34	8	14	9	12	126
新たに確保した医療機関数（延べ）	16	42	12	5	29	35	6	145
計	48	59	46	13	43	44	18	271

■ 抗原検査キットの直接配布の延長

- ・ 配布期間 1月9日(月)まで (年末年始を含む)
※1月10日以降も土日に関り配布を継続 (1/29まで)
- ・ 配布時間 9時～17時
- ・ 配布場所 宮崎港
- ・ 配布個数 1人につき2個まで
- ・ 対象者

以下の①～④の全てを満たす方

- ①宮崎県在住者 (長期滞在者を含む)
- ②有症状者
- ③65歳未満の方
- ④基礎疾患のない方、重症化リスクの少ない方



陽性者登録センターの登録状況

- 直近1週間の1日当たりの平均登録件数：189人
- ※全体の感染者数の約1割 (日曜日は約2割) が登録センターでの登録

※希望者への抗原検査キットの配送も継続して実施

■ 「みなし陽性」の適切な運用

- ・ 発熱外来の負担軽減のため、「みなし陽性 (※)」の運用を再開
期間 12月24日 (土) ～当面の間

※医師の判断により、検査を行わず、臨床症状 (熱や咳など) で診断を行うこと

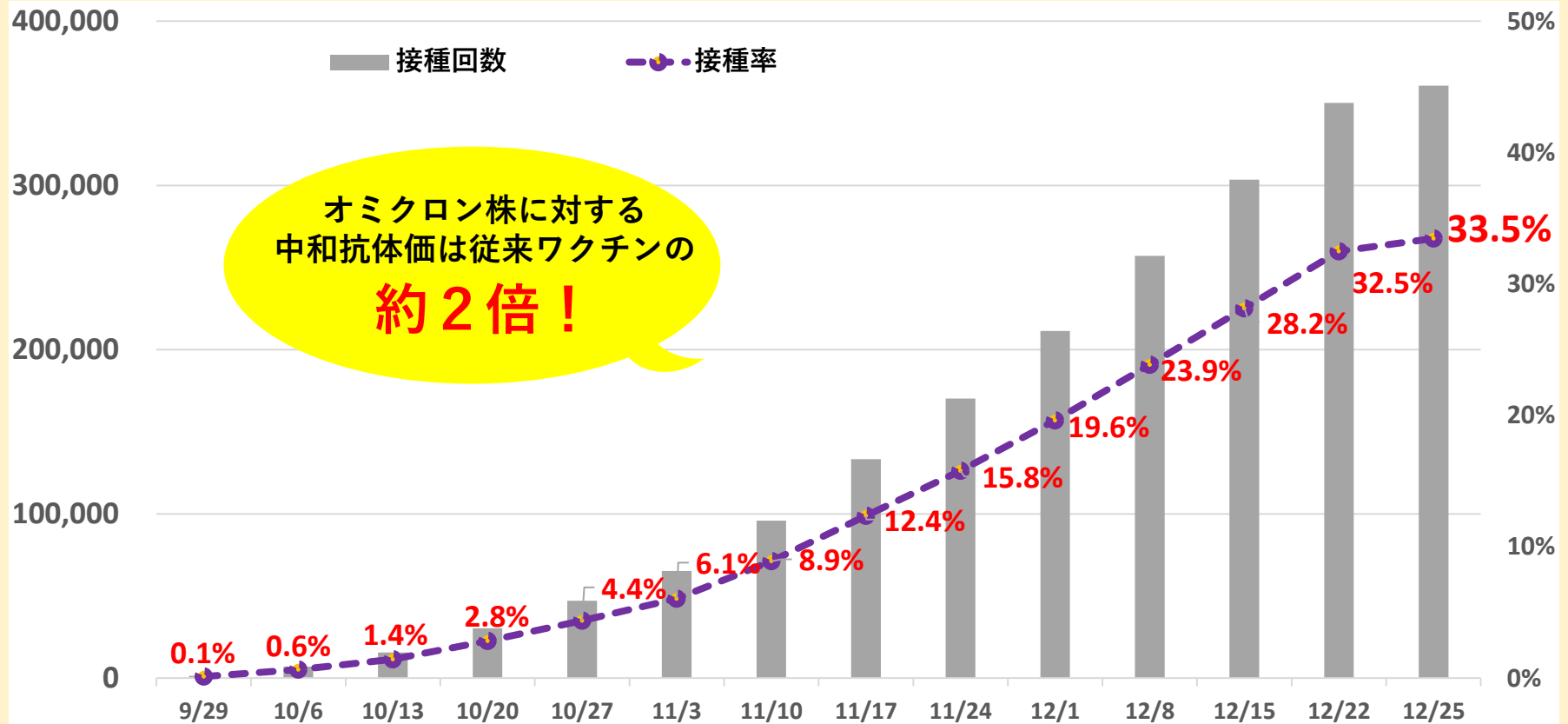
オミクロン株対応ワクチン等の接種の促進①

○接種実績（令和4年12月25日現在）

・オミクロン株対応（全人口ベース）

接種率

33.5%



感染や重症化を予防し、医療のひっ迫を生じさせないためには、

オミクロン株対応ワクチンの早期接種が極めて重要

オミクロン株対応ワクチン等の接種の促進②

市町村別オミクロン株対応ワクチン接種率（令和4年12月25日現在）

※全人口ベース

市町村名	接種率	市町村名	接種率	市町村名	接種率
県全体	33.5%	えびの市	39.3%	川南町	41.8%
宮崎市	31.4%	三股町	32.9%	都農町	37.6%
都城市	34.1%	高原町	26.0%	門川町	30.0%
延岡市	32.8%	国富町	35.2%	諸塚村	49.1%
日南市	30.7%	綾町	35.0%	椎葉村	24.1%
小林市	38.3%	高鍋町	39.7%	美郷町	47.7%
日向市	29.1%	新富町	32.7%	高千穂町	63.0%
串間市	41.2%	西米良村	57.0%	日之影町	68.6%
西都市	33.6%	木城町	32.0%	五ヶ瀬町	34.9%

小児（5-11歳）ワクチン接種

○接種実績（令和4年12月25日現在）

1回目	26.3%	2回目	25.1%	3回目	7.7%
-----	-------	-----	-------	-----	------

○ワクチンの効果等

- ・オミクロン株にも**高い入院予防効果を保持**
- ・**副反応は大人と比べ軽い傾向**

3回目接種後の
オミクロン株に対する中和抗体価
2回目と比べ**約22倍！**

乳幼児（6か月-4歳）ワクチン接種

（10月下旬から開始）

○ワクチンの効果

オミクロン株にも**高い発症予防効果**

年末年始に向けての 県民の皆様へのお願い

■感染拡大に最大限の警戒を！

■高齢者を守る行動を！

■地域医療を守る行動を！

感染拡大に最大限の警戒を！

年末年始は普段会わない方との接触機会が増加します

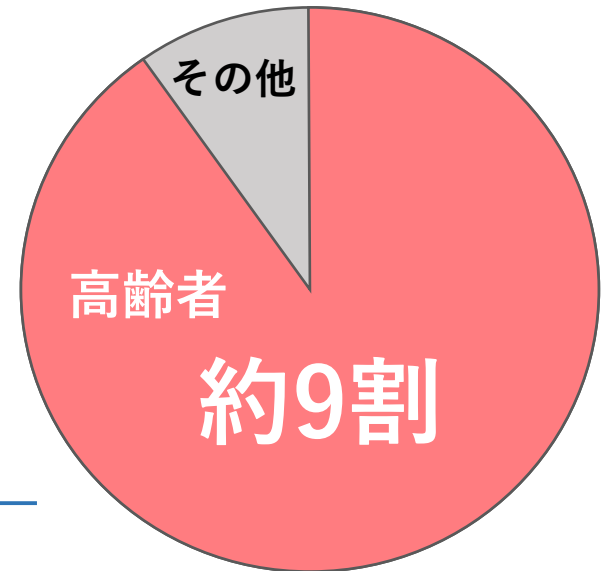
- ・ マスク・手洗い・換気など、基本的な感染防止対策の徹底を！
(初詣や初商い等にお出かけの際は、十分な注意を！)
- ・ 感染リスクの高まるような大人数・長時間の会食は控えて！
- ・ 成人式前後の会食も特に注意を！
- ・ 帰省等での来県前後には、無料検査の実施を！

高齢者を守る行動を！

高齢者の入院患者が急増し、 医療がひっ迫しつつあります

〔 入院患者に占める高齢者の割合 〕

- ・ 感染に不安のある方は、今は、
高齢の親族等に会うのは控えて！
- ・ 帰省して高齢の親族等に会う場合は、
事前の検査で陰性の確認を！
- ・ 高齢の親族等と会う時は、「うつさない」
ための感染防止対策の徹底を！



※オミクロン株は重症化しにくいと言われているが、高齢者（80代以上）においては約2割が入院

地域医療を守る行動を！

年末年始は医療機関が 原則休診となります

- ・重症リスクの低い方は、抗原検査キットを活用し、症状が軽い場合は、陽性者登録センターでの登録・自宅療養を！
- ・65歳以上の方や基礎疾患がある方、お子さんや妊娠中の方等、重症化リスクのある方は、年末年始に対応可能な発熱外来の受診を！
- ・救急医療を守るため、症状が悪化する前に早期に日中の受診を！
- ・万が一の感染に備え、抗原検査キットや解熱鎮痛薬、食料の準備を！

第8波

医療非常事態宣言発令



**高齢者を守り、地域医療を維持していくため、
一人ひとりが感染防止対策の徹底を！**